

独立自尊の社会・世界に
貢献する人財を育成する



株式会社ナガセ

2024年3月期第2四半期 決算説明会資料

2023年11月10日

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校
早稲田塾

でてこい、未来のリーダーたち。
四谷大塚

木村塾

イマンスイミングスクール
イマンスポーツスクール
東進ビジネススクール
TD TOSHIN DIGITAL UNIVERSITY

目次

1

会社概要

P. 2

2

業績振り返り / 業績予想

P. 5

3

Appendix.

P. 20

1. 会社概要

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚



イマスイミングスクール
イマスポ・スクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

事業概観

企業理念「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」

生徒数 約**37万人**

全国**3,000**拠点
民間最大の教育機関



林修先生 安河内哲也先生



でてこい、未来のリーダーたち。

四谷大塚

でてこい、未来のリーダーたち。
四谷大塚 NET



中学受験
小学生 約**3.2万人**

大学受験高校生 約**12万人**

社会人

大学生

高校生

中学生

小学生

幼児

東進こども英語塾



清瀬ひかり幼稚園

東進ハイスクール中学部
東進中学NET

東進オンライン学校

AIリーダー研修
語学・ビジネススキル研修
東進ビジネススクール



大学生～社会人約**7.2万人**

スイミングスクール約**10万人**



お橋 ゆい
大橋悠依選手
2021年東京五輪
金メダル二冠

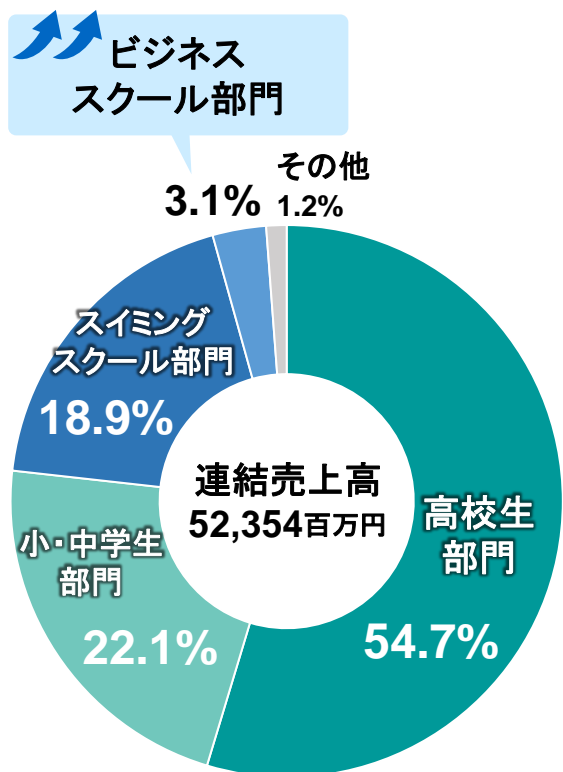


ほんだ ともる
本多灯選手
2021年東京五輪
銀メダル



いりえ りょうすけ
入江陵介選手
2012年ロンドン五輪
銀メダル

セグメント別の売上構成比(2023年3月期)



1 高校生 東進ハイスクール 東進衛星予備校 WASEDAJUKU 早稲田塾

2 小・中学生 四谷大塚 でてこい。未来のリーダーたち。 東進中学NET KIDORA 小・中生指導 木村塾

3 スイミングスクール イマンスイミングスクール イマンスポーツスクール

4 ビジネススクール (AI・DX領域) 東進ビジネススクール TD TOSHIN DIGITAL UNIVERSITY

ビジネススクール部門を第四の柱に

2. 業績振り返り / 業績予想

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚



イマスイミングスクール
イマスポ・スクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

2024年3月期第2四半期の連結業績概況

★ : 過去最高

(単位:百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2024年3月期2Q (当期)	★ 25,397		1,430		1,330		696	
2023年3月期2Q (前期)	24,198		2,445		2,297		2,253	
前年比 (%)	+1,198	+5.0%	△1,014	△41.5%	△967	△42.1%	△1,557	△69.1%

- 売上高は、前年比+1,198百万円(5.0%増)となり、第2四半期としては過去最高実績を更新しました。
 - ①小・中学生部門の増収 1,224百万円 (ヒューマレッジ加入による1,145百万円のほか、四谷大塚増収など)
 - ②ビジネススクール部門の増収 492百万円 (企業向けIT・DX講座の大口受注増収)
 - ③高校生部門の減収 △526百万円 (前期末・夏期募集期に新規入学者数が前年を下回った影響による減収)
- 経費面では、前年比+2,213百万円(10.2%増)となりました。ヒューマレッジ加入(のれん含む)による増加が+1,310百万円あり、既存部分では+903百万円(4.2%増)の増加となりました。既存部分の増加は、①全国统一テストのTV広告などによる広告宣伝費+434百万円 ②新規校舎等に係る物件費+200百万円③合宿、セミナー等のイベント再開による費用+226百万円など戦略経費によるものです。その他の経常経費は概ね前年並で、全体として、経費予算内の進捗となっています。
- 利益面では、高校生部門の減収、戦略経費の増加により、各利益とも昨年を下回りました。なお、昨年は研修施設の売却による特別利益1,009百万円の計上があり、前年比では四半期純利益でこの影響がでております。

2024年3月期第2四半期の連結業績概況(セグメント別業績)

(単位:百万円)	2023年3月期2Q		2024年3月期2Q		対前年比(増減)	対前年比(%)
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)		
売上高	24,198	100.0%	25,397	100.0%	1,198	105.0%
高校生	13,277	54.9%	12,750	50.2%	△526	96.0%
小・中学生	5,285	21.8%	6,510	25.6%	1,224	123.2%
スイミングスクール	5,006	20.7%	4,975	19.6%	△30	99.4%
ビジネススクール	302	1.3%	795	3.1%	492	262.5%
その他	939	3.9%	968	3.8%	29	103.1%
連結調整※	△612	-	△602	-	-	-
	実績	利益率(%)	実績	利益率(%)	対前年比(増減)	対前年比(%)
営業利益	2,445	10.1%	1,430	5.6%	△1,014	58.5%
高校生	2,774	20.9%	1,694	13.3%	△1,080	61.1%
小・中学生	1,391	26.3%	991	15.2%	△399	71.3%
スイミングスクール	278	5.6%	308	6.2%	30	111.0%
ビジネススクール	△151	-%	261	32.9%	413	-%
その他	25	2.7%	148	15.4%	123	586.7%
連結調整※	△1,872	-	△1,974	-	-	-
経常利益	2,297	9.5%	1,330	5.2%	△967	57.9%
四半期純利益	2,253	9.3%	696	2.7%	△1,557	30.9%

2024年3月期2Q 売上高変動要因

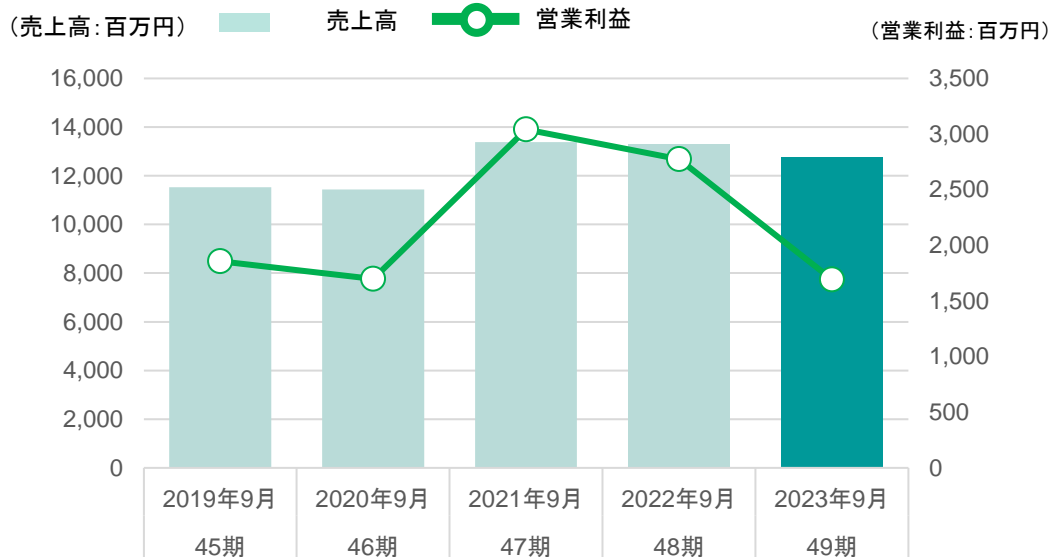
- 高校生部門
 - 上期は、前期末募集期に新規入学者数が前年を下回ったことと、夏期の生徒募集で低学年の入学者数が伸び悩んだことで、前年比**4.0%減**となった。
- 小・中学生部門
 - 2023年1月にグループ会社となったヒューマレッジ(木村塾等)の増分1,145百万円があった他、四谷大塚なども堅調に推移し、合計では前年比**23.2%増**となった。
- スイミングスクール部門
 - 夏期募集は堅調に推移したが、前年にコロナ休業時の振替授業による売上計上が95百万円あったことから、全体では前年比**0.6%減**となった。
- ビジネススクール部門
 - 企業向け研修で、新たなる成長分野としてIT・DX研修への取組みを積極的に推進、1Qに大口受注を獲得したことで、前年比**162.5%増**となった。

2024年3月期2Q 利益変動要因

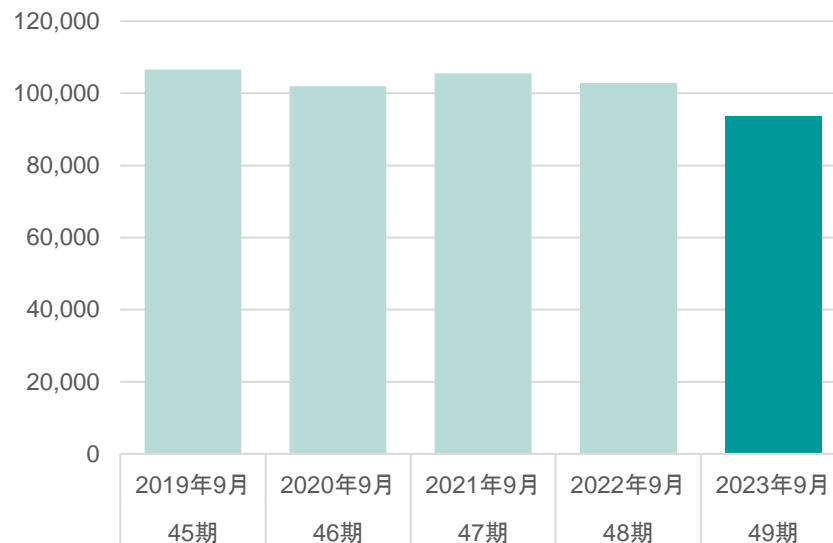
- BS部門の大幅増益の一方で、高校生部門の売上高減と、統一テストなどの広宣費増加(高校生、小・中学生部門)や各種イベント再開などの戦略経費の先行により、前年比で、営業利益**1,014百万円減**、経常利益**967百万円減**となった。
- 四半期純利益は、前年第1四半期に固定資産売却益10億円の計上があったため、前年比としては**1,557百万円減**となった。

※ 連結調整額にはセグメント間取引消去額、各報告セグメントに配分していない全社費用を含む

業績推移(高校生部門)



生徒数推移(高校生部門) 9月末



今後の取組

- 大学毎の入試特性を加味してさらに進化させたAI演習プログラムを、東大を始めとする難関大学の2024年入試で活用することで、高い合格実績を継続
- ChatGPTを活用した先進コンテンツの「英作文1000本ノック」の新規提供開始や現高2生から導入された新課程に対応した共通テスト対策模試、「情報Ⅰ体験模試」の提供などを通じた新規生徒の獲得強化
- 早稲田アカデミーの衛星加盟校参加による首都圏中3生の高校進学時の入学促進
- 2024年3月目途に、学校成績の向上を目指す生徒をターゲットにしたコンテンツ開発・コースを設置、学校推薦・総合型選抜を志向する生徒など新たな生徒層を獲得し、在籍生徒数の裾野を拡大
- 都立高校の校内予備校への取組を6高校で開始しており、公教育との連携を通じた生徒指導にも取り組みます。

高校生部門：早稲田アカデミーが東進衛星予備校に加盟

**株式会社早稲田アカデミー と 株式会社ナガセは
9月30日 新たに「東進衛星予備校ネットワーク加盟契約」を締結**

東進衛星予備校ネットワーク・東進中学NETに加盟

2024年3月 4校開校予定・順次開講予定

 **早稲田アカデミー**

※ 日本最大級の小・中学生 進学塾

東進衛星予備校

4校開校からスタート

池袋東口校・渋谷南口校

御茶ノ水駅前校・たまプラーザ北口校

1学年あたり1万人以上いる早稲田アカデミーの卒塾生に対して
東進衛星予備校・東進中学NETの授業サービスを提供
早稲田アカデミーとの連携によって首都圏に新たなマーケットを創出

高校生部門：英作文 1000本ノック(生成AIを活用した大学受験向け英作文添削システム)

これまで

英作文は難関大合格には必須にも関わらず、英語の先生といえども、正確な指導が困難であり、かつ、人が添削するには時間がかかることから演習量・トレーニングを十分に積むことが難しかった

ChatGPTを活用することでこれまで抱えてきた英作文学習の課題を解決

英作文の添削を即座に、繰り返して、実施できる

これまで人の力の添削では実現不可能だった圧倒的な演習量によって力をつける

英作文1000本ノック



① 文法・スペルミスはもちろんのこと
和文英訳のニュアンスを評価

② 5レベル×200題の圧倒的演習量
文法の理解から始めスモールステップで力をつける

③ 正答時には別解が示されることで
他の表現も学ぶことができるから力がつく

東進学力P.O.S
English academic ability Point Of Study

ログインID dmhsstd

ホーム

英作文問題
- 和文英訳
- 自由英作文

合格問題一覧

英作文1000本ノック - 始めてから32日目 -

連続10日目だね！今日も一緒に頑張ってください！

このコンテンツで表裏されるアドバイスは、AI機能によって自動で出力されることがあります。注意してください。アドバイスを元に学習し、適切な力を身につけてください。

以下の日本語の文章を英訳してください。

1. 課題 5/99 問題ID 810100006

あなたは眠そうだね

2005年 静岡県立大学 - 改

3回目 | 答案

答えを入力して下さい。

評価とアドバイス

総合評価は **A** です！おめでとうございます！

✓ 答案 You look sleepy.

🗨️ 講評 この英文は完璧です。続けて頑張りましょう！
[この英作文に必要な単語レベル: A1]

🔍 別解 You seem sleepy.
「look」の代わりに「seem」を使うこともできます。どちらも「~のように見える」という意味ですが、「seem」は主観的な印象を表すのに対して、「look」は外見に基づく印象を表します。
[別解に必要な単語レベル: A2]

平均 初回評価 B

直近2週間			
	初回	実演問題数	総演習回数
平均	21問	61問	100問

2. 大学受験 基礎 日本大、東洋大、駒澤大、専修大、京都産業大、龍谷大など

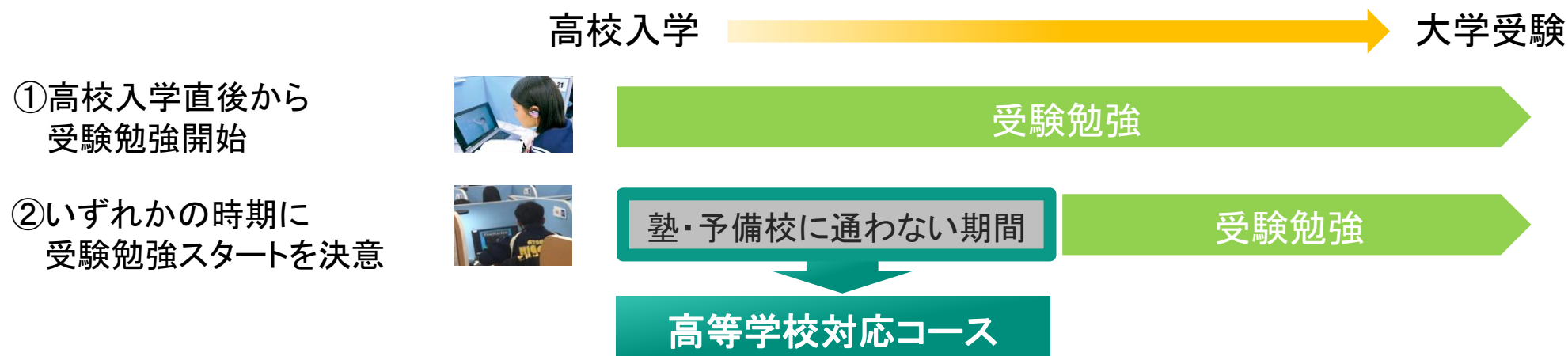
次の問題へ

ホームへ

高等学校対応コース



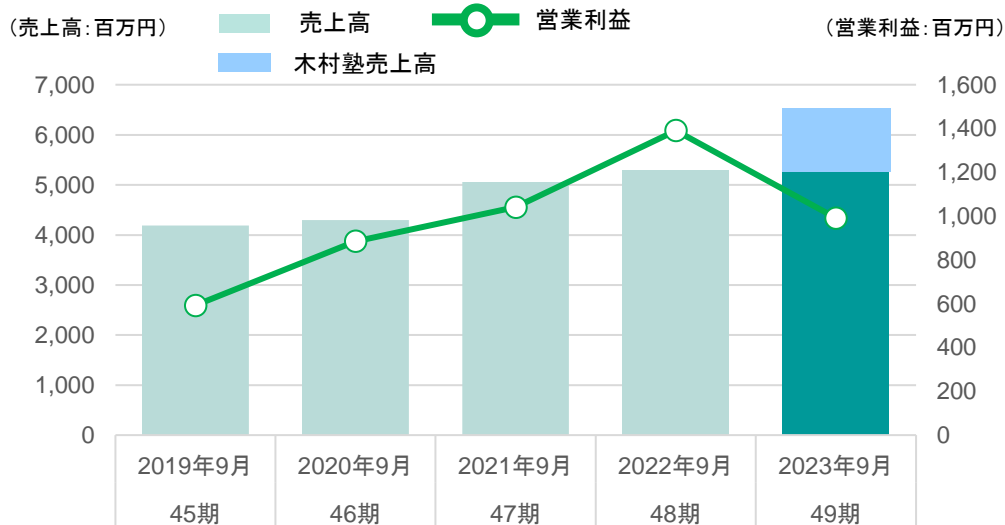
難関大合格と並ぶ 高1生・高2生の大きなニーズ = 学校の成績を伸ばしたい



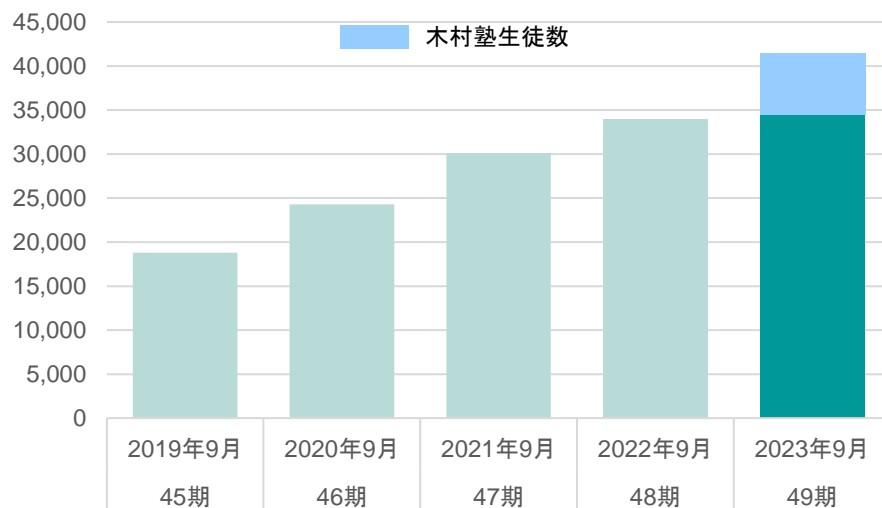
最初から志望大学合格の目的を持って通う生徒だけではない
高校生の様々なニーズを取り込む施策

例：「まずは学校の成績を上げるため通い始める」「成績を上げて多様な入試選抜」

業績推移(小・中学生部門)



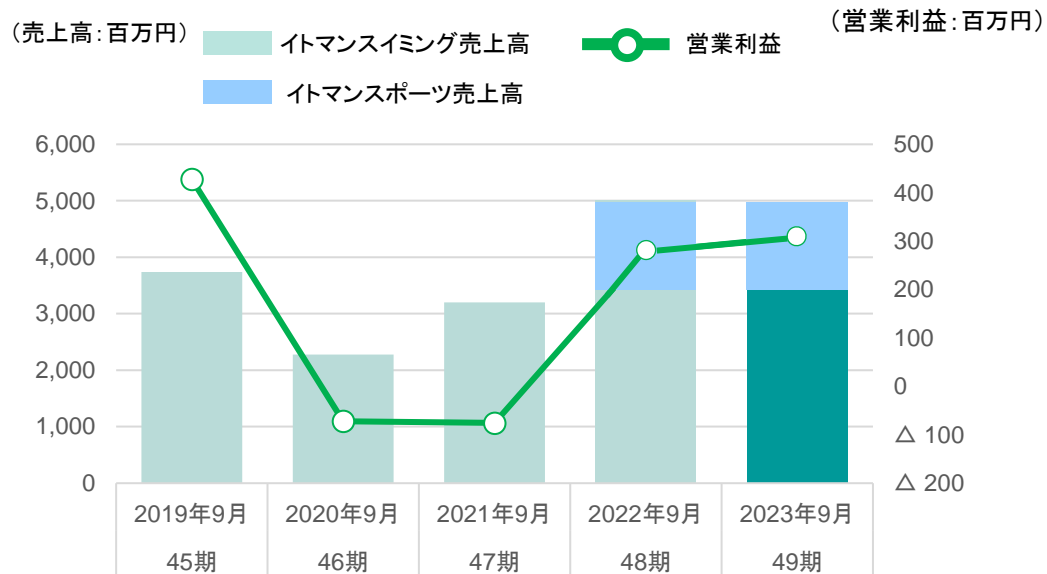
生徒数推移(四谷大塚生+木村塾) 9月末



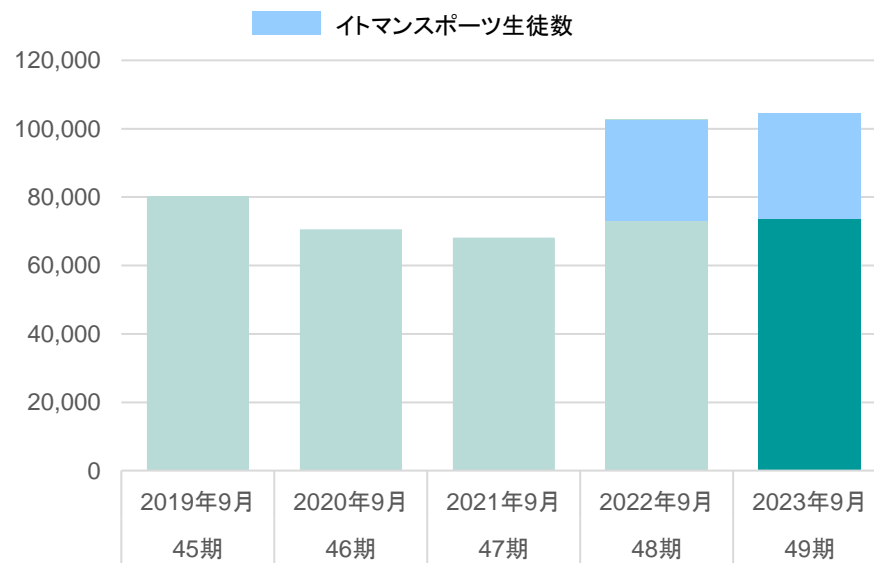
今後の取組

- 兵庫・大阪地区で幅広い学力の生徒指導に定評あるヒューマレッジ(木村塾他)のグループ化により、これまでと異なる地域、生徒層への拡大が可能になりました。今後はグループ全体で同社のノウハウを共有し、生徒指導の深化を実現していきます。
- 四谷大塚では、前期12月に自由が丘校舎、調布校舎、1月に西新宿校舎を開校、今期も9月に白金高輪校舎を新規開校し、首都圏での通塾可能エリアを拡大して、堅調な業績トレンドを維持します。

業績推移(スイミングスクール部門)



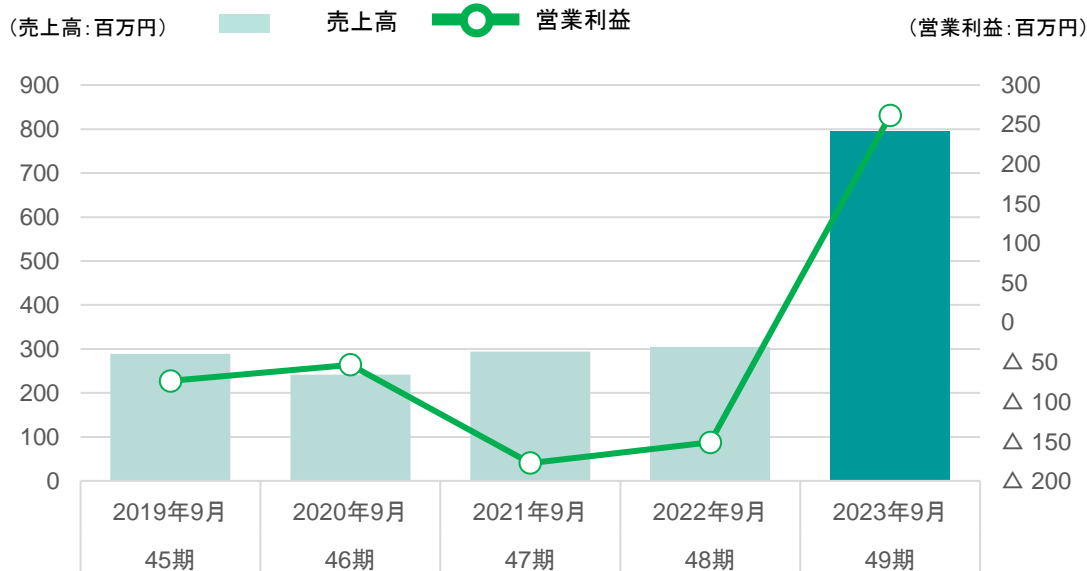
生徒数推移(スイミングスクール部門) 9月末 ※休会除く



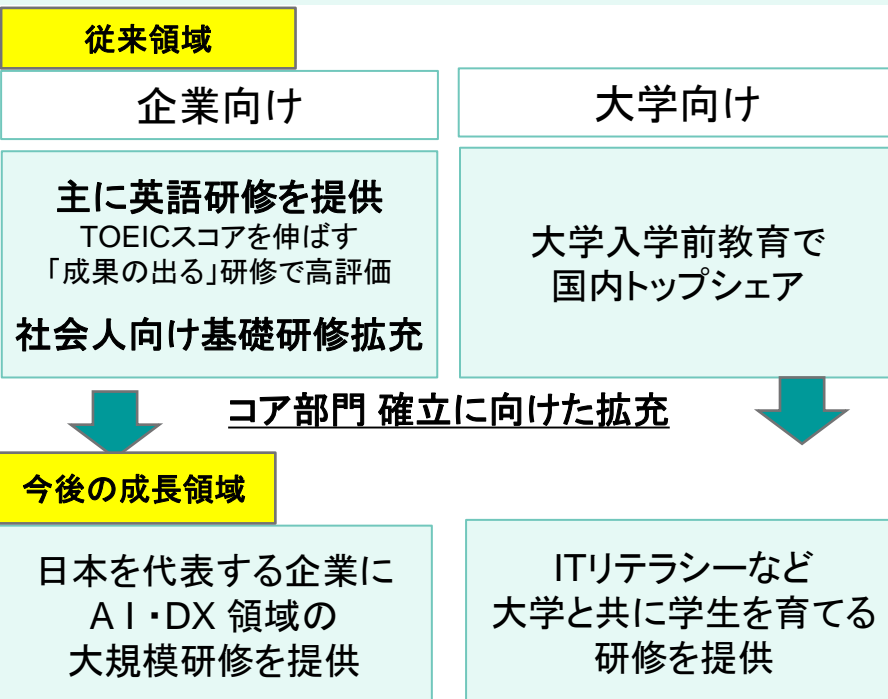
今後の取組

- 生徒数では、コロナ期の落ち込みが大きかったイトマンスポーツスクールが大きく回復、休会率も全体としてコロナ前の水準まで改善するなど、回復基調がしっかりしたものになってきており、今後2年程度で、生徒数においてもコロナ前水準への回復を目指します。
- 2023年2月開校の千葉県柏の葉校舎も好調な立ち上がりとなったほか、公立小・中学校からの水泳受託事業など、新規分野の収入も増加しつつあり、引き続き成長への取組みを積極的に進めてまいります。
[＜公立小・中学校からの水泳受託事業数の推移＞](#)
2021年度9校⇒2022年度16校⇒2023年度32校⇒2024年度63校まで拡大予定

業績推移(ビジネススクール部門)



ビジネススクール部門の事業領域の拡大



今後の取組

- リスキリングへの意識の高まり等を背景とした企業や大学のITリテラシー教育需要の急速な拡大を捉え、成果に直結するコンテンツ・研修指導を通じて、**本部門をコア部門(売上100億円規模)に成長**させます。
- 東進デジタルユニバーシティでは、米国のデジタル領域でのトップ大学と連携することで、高度AI人財の育成事業の取り組みも強化していきます。

HONDA



ソフトウェア領域における
5つの主要な役割(人材類型)を定義し
各学習カテゴリをオンライン講座化



ナガセ、Honda全従業員を対象とした 教育プログラムを共同開発。約30,000人が受講完了。

本田技研工業株式会社 コーポレート管理本部 人事統括部 人事部長コメント
モビリティ産業が大転換期を迎えている中でHondaは現在を「第二の創業期」と位置づけており、人事領域においても、キャリアを軸とした自律的な能力開発への転換をはじめ、様々な改革に取り組んでいます。

今回全社プログラムを展開したソフトウェア・電動化領域においても、個人のさらなる学びを支援する選択型学習プログラムの提供や、保有スキルの可視化やキャリア形成との連携など、自己成長にチャレンジする従業員を支える仕組みづくりを加速させていきます。

上記に続き、今後様々なプログラムを次々と共同開発をしてゆく予定です。

デジタル教育の取り組みを通じて
日本の産業界のお役に立てるように努めて参ります。

2024年3月期の連結業績予想

(単位:百万円)	2023年3月期		2024年3月期		対前年比(増減)	対前年比(%)
	実績	構成比(%)	計画	構成比(%)		
売上高	52,354	100.0%	55,750	100.0%	3,395	106.5%
高校生	28,618	54.7%	28,671	51.4%	53	100.2%
小・中学生	11,573	22.1%	13,530	24.3%	1,957	116.9%
スイミングスクール	9,898	18.9%	10,280	18.4%	381	103.8%
ビジネススクール	1,641	3.1%	2,670	4.8%	1,029	162.7%
その他	1,873	3.6%	1,960	3.5%	87	104.6%
連結調整※1	△1,251	-	△1,361	-	-	-
	実績	利益率(%)	実績	利益率(%)	対前年比(増減)	対前年比(%)
営業利益	5,369	10.3%	6,433	11.5%	1,063	119.8%
経常利益	5,071	9.7%	6,123	11.0%	1,051	120.7%
当期純利益	4,000	7.6%	3,640	6.5%	△360	91.0%

※1 連結調整額にはセグメント間取引消去額を含む

2024年3月期 売上高計画要因

- 高校生部門
 - コロナ影響などで後ろ倒しとなった入学数の増加と教務力強化のための講習申込増を見込み、前年比**0.2%増**とした。
- 小・中学生部門
 - 四谷大塚他の既存部門では、足元の在籍増、昨年新設校の通期寄与効果もあり、前年同水準の**4.0%増**、これに、ヒューマレッジの通期寄与効果15億円があり、全体では前年比**16.9%増**とした。
- スイミングスクール部門
 - 足元の生徒数回復傾向の継続と前期開校校舎の立上り効果を反映し、前年比**3.8%増**とした。
- ビジネススクール部門
 - 大学入学前教育の堅調な伸び、企業向けでは既存の語学、ビジネス教養分野に加え、ITリテラシー教育などの新分野での新規提供を見込み、前年比**62.7%増**とした。

2024年3月期利益計画要因

- 営業利益
 - 各部門の増収効果と既存経費の前年同水準でのコントロールにより、前年比**19.8%増**とした。
- 当期純利益
 - 前期に実現した固定資産売却益10億円の剥落を反映し、前年比**△9.0%減**とした。

株主還元

- 当社は、事業の成長また経営基盤強化など、事業展開を進めるうえで必要な内部留保を確保し、財務の健全性を維持するとともに、業績に応じた株主への利益還元を行うことを利益配分の方針としております。

	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月		2024年3月 (予想)
配当 (円)	100	130	130	130	130	130	130	200	300	1株↓3株 株式分割	100
配当性向 (%)	44.3%	35.8%	45.1%	44.2%	113.4%	39.1%	47.0%	51.0%	65.8%		72.3%

当社は2023年4月1日付で1株につき3株の割合をもって株式分割を実施いたしました。これにより、発行済株式数は30,445,227株となり、「2023年3月期決算短信」以降の開示文書では、1株あたりの各数値は換算値で表示されております。(例:配当300円→100円)

「スタンダード市場選択」に伴う対応

- 東証新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準への適合に向けて、流通株式比率の改善に取り組みました。
- 流通株式比率は、2023年4月の株式分割、2023年9月の株式売出しの効果があり、2023年9月期末時点で**25.3%**(前期末判定基準日比10.0%改善)となり、現時点で全ての適合基準を満たしております。

※ 2023年9月30日時点

	株主数	流通株式数	流通時価総額	流通株式比率
当社の状況	5,699人	77,206単位	156億円	25.3%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
適合状況	○	○	○	○

お問い合わせ先

常務取締役 総務本部長 内海 昌男

TEL: 0422-45-7011

WEBサイト: <https://www.toshin.com/nagase/>

本資料における留意点について

本資料は、当社の事業、業績等に関する一般的な情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券に対する投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいた当社独自の業績予測や将来の見通しが含まれており、当社はその正確性や完全性を保証または約束するものではありません。判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が計画と異なること、計画が予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

Appendix.

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚



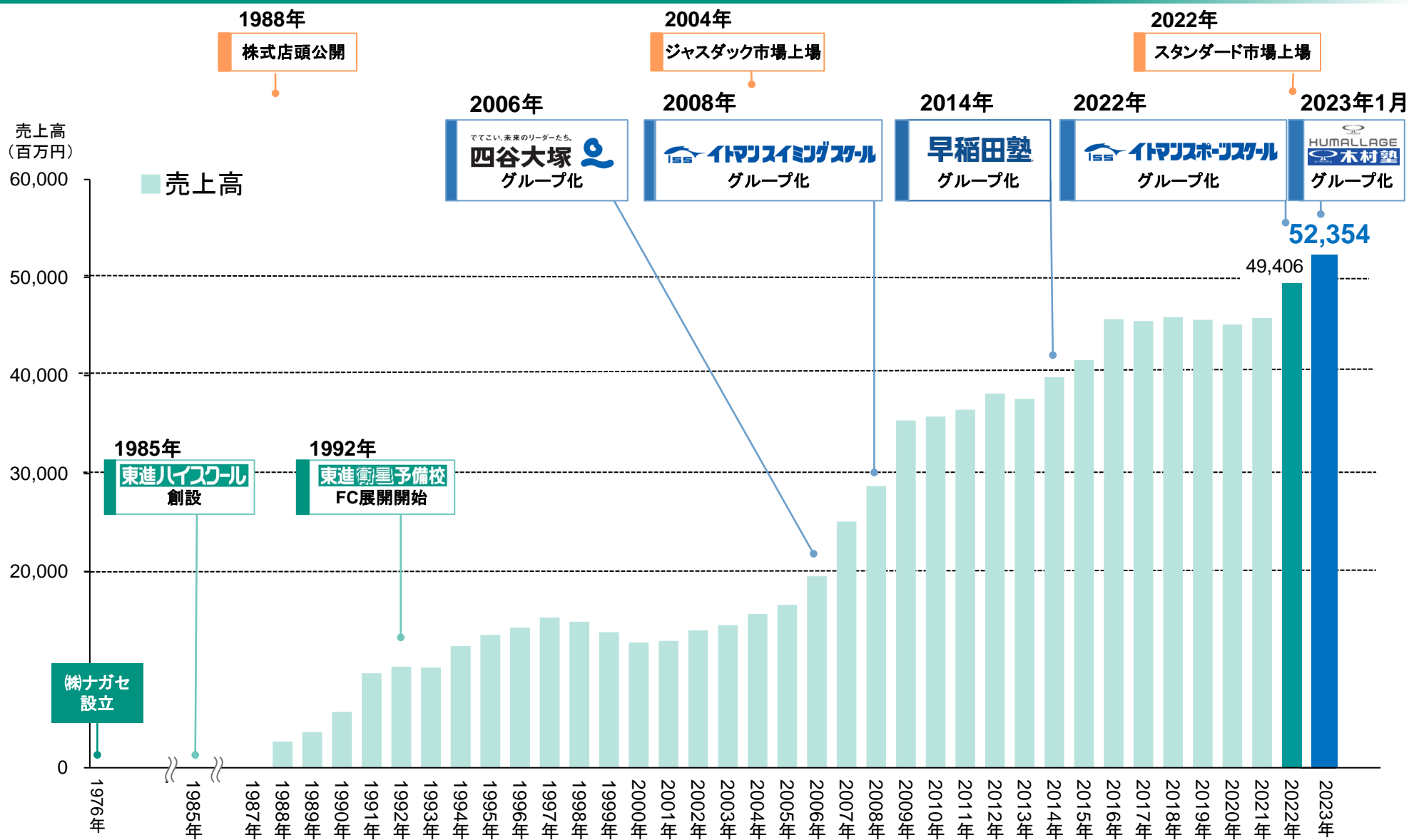
イマスイミングスクール
イマスポ・スクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

ナガセ成長の軌跡



※ 財務数値は各年3月期の数値を示す

2019年3月期~2024年3月期第2四半期


四半期連結決算業績概況

- 当社の事業は、受験や進級・進学シーズンを節目に、季節性を有します。
- 新学年の開始時期である第1四半期は費用が先行し赤字となるケースも多く、その後第2四半期以降、特に生徒数がピークを迎える第3四半期・第4四半期に売上・利益ともに増加するという季節的な変動があります。

	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
売上高	8,449	11,209	13,054	12,968	8,957	11,180	12,879	12,164	7,744	10,759	13,497	13,851	9,996	12,131	13,715	13,561	11,065	13,133	14,343	13,812	11,691	13,706	
営業利益	-1,962	1,121	2,218	1,288	-404	1,627	2,166	1,186	-	1,233*	903	2,868	1,603	114	1,539	2,339	1,597	400	2,045	2,544	380	-169	1,599
経常利益	-1,948	1,074	2,164	1,106	-487	1,542	2,127	1,068	-	1,292*	807	2,764	1,782	91	1,385	2,253	1,423	399	1,897	2,439	335	-138	1,468
親会社株主に帰属する四半期純利益	-1,425	442	1,497	502	-321	1,060	1,470	716	-917	559	1,954	830	76	951	1,558	854	937	1,315	1,629	117	-150	847	

※ 2021年3月期の連結営業利益および連結経常利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業停止により発生したスイミングスクール部門における損失450百万円を特別損失に振り替える前の数値を掲載

2023年東進生現役合格実績

: 史上最高

国公立大学	史上最高	2023年 (人)	昨対 同日比
1 東京大学		845	▲ 8
2 京都大学		472	+4
3 北海道大学		468	+30
4 東北大学		417	+45
5 名古屋大学		436	+26
6 大阪大学		617	±0
7 九州大学		507	+75
旧七帝大		3,762	+172
8 東京工業大学		198	▲ 13
9 一橋大学		195	▲ 56
10 神戸大学		548	▲ 7
医学部医学科		1,064	+34

私立大学	史上最高	2023年 (人)	昨対 同日比
1 早稲田大学		3,523	+118
2 慶應義塾大学		2,218	▲ 45
早慶		5,741	+73
3 上智大学		1,739	+250
4 東京理科大学		2,948	+145
5 明治大学		5,294	▲ 57
6 青山学院大学		2,216	+112
7 立教大学		2,912	+267
8 法政大学		4,193	+346
9 中央大学		2,905	▲ 168
上理明青立法中		22,207	+900
10 関西学院大学		2,861	+241
11 関西大学		2,918	+166
12 同志社大学		3,178	+374
13 立命館大学		4,698	+245
関関同立		13,655	+1,026

東進の現役合格実績は以下の厳格な基準で定めています

①現役生のみ(高卒含まない) ②講習生は含まない(通期講座1講座分以上相当受講者のみ) ③対象:該当年度の高3生時に在籍生のみ ④集計:3月31日を締切りとして4月1日以降判明者は含まない

高校生部門：東進の圧倒的な大学現役合格実績

東大における東進生の現役合格者占有率 (2023年3月実績)

2023年 日本一の難関大 現役合格実績の東進 史上最高出!!

東大 845名 5年連続 旧七帝大+東工大+一橋大+神戸大 現役合格 **4,703名** 東進史上最高記録を更新!!

現役合格者の**36.9%**が東進生!

東京大学 現役合格おめでとう!!

2023 現役合格実績 (3/21現在)

国公立 医学部 医学科	早慶	上理	全国公立大	2023 現役合格実績
1,064名	5,741名	4,687名	17,154名	(3/21現在)
		明青立法中	日東駒専	
		17,520名	10,945名	
			産近甲龍	
			6,217名	

東大 845名

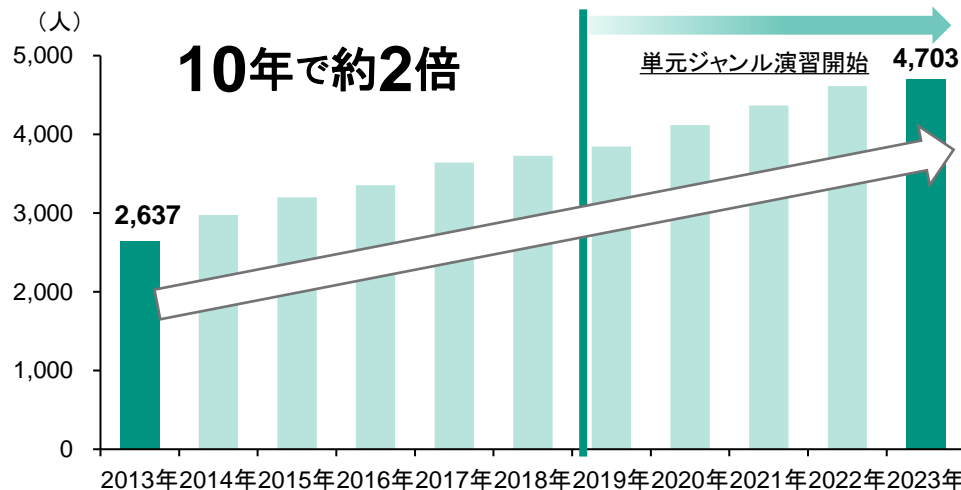
3/31締切最終確定数

東大現役合格者の2.8人に1人が東進生!!

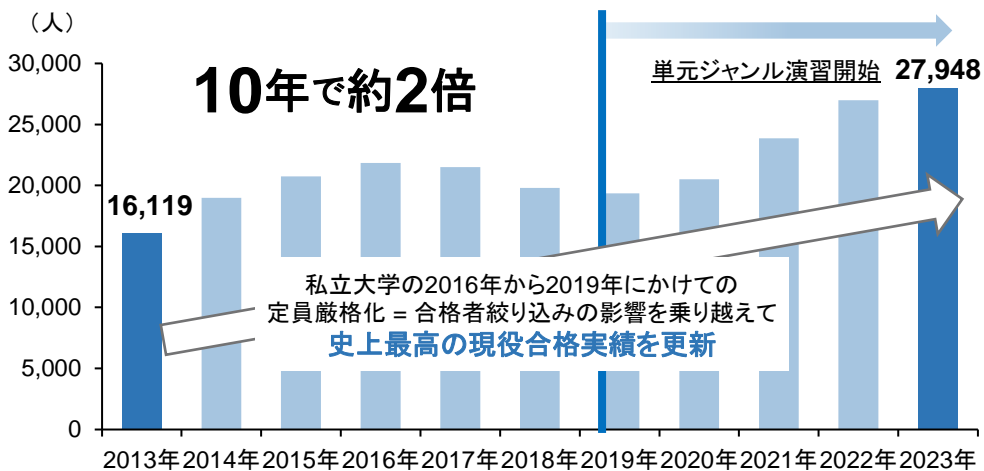
東進生 現役占有率 **36.9%**

文科一類 121名
文科二類 111名
文科三類 107名
理科一類 311名
理科二類 126名
理科三類 38名
推薦 31名

旧七帝大 + 3(東工大 + 一橋大 + 神戸大) 現役合格実績推移



早慶 + 上理明青立法中 現役合格実績推移 ※上理明青立法中 = 上智・東京理科・明治・青山学院・立教・法政・中央



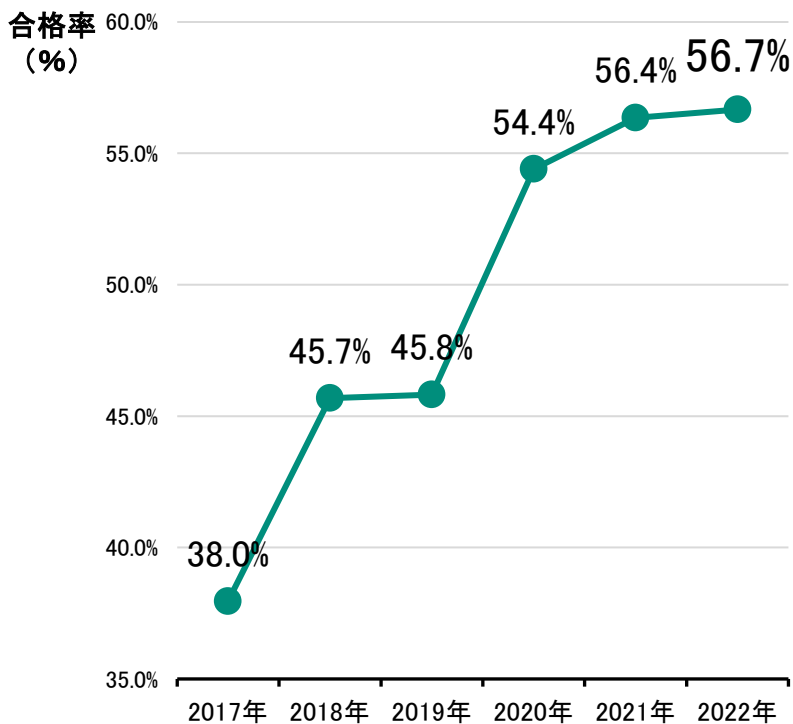
※ 東進生現役占有率: 全現役合格者(前期+推薦)に占める東進生の割合、2023年東大現役合格者は2,284名、東進の現役合格者は845名

高校生部門: AI演習の導入による合格率の上昇

2018年AIを活用した学習「単元ジャンル演習」を開始

AIを導入し「100万人いれば100万通り」の学習を実現 着実に合格実績を伸ばしてきました

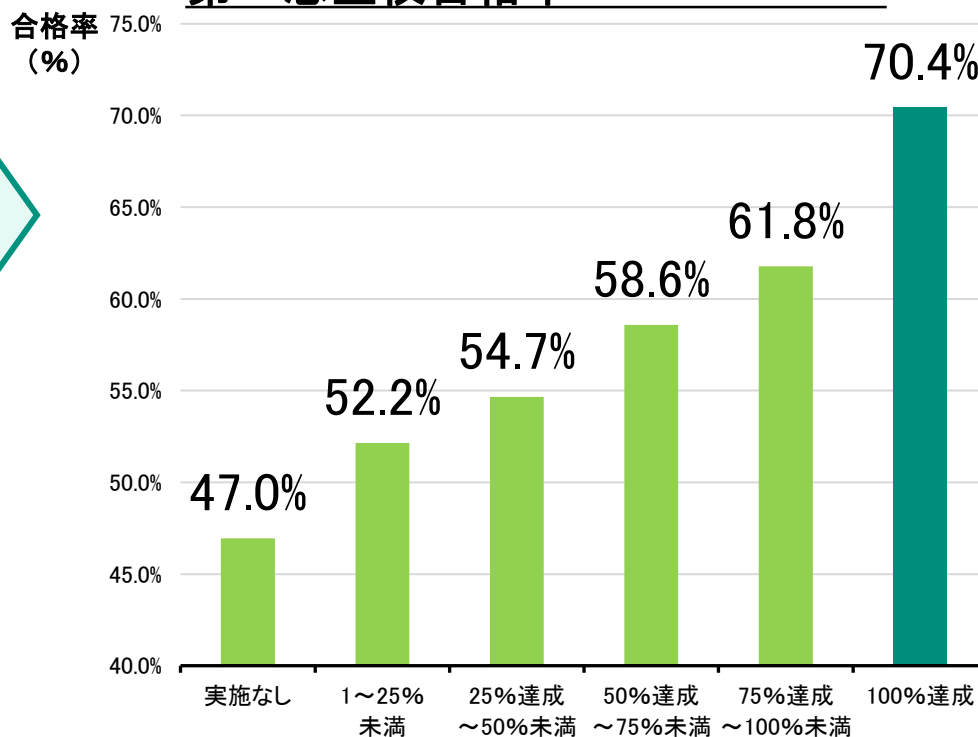
① 第一志望校合格率※ 年次推移



年度

② 単元ジャンル演習 実施状況別

第一志望校合格率※ (2019年～2022年合算)



志望校別単元ジャンル演習 修得率(%)

※第一志望校: 8月共通テスト本番レベル模試受験者(ハイスクール高3生)の可否を集計
「本人の8月時点の偏差値+5」の偏差値を第一志望レベルとし、最終的にそれ以上のランクの大学・学部・学科に合格した生徒

公教育との連携 (東進 校内予備校事業・イトマン 受託事業)

公教育



民間

大学受験部門では高校内での予備校の活用
スイミングスクールでは指導の受託(コーチ派遣・プールでの受け入れ)など
民間機関と公教育で連携して指導する場が増加しています



東京都の進学指導推進校15校が校内予備校の取り組みを開始
ナガセグループが6高校で事業を受託しました

対象高校:進学指導推進校(15校)

進学指導
重点校(7校)

進学指導
特別推進校(7校)

進学指導
推進校(15校)

<実施概要>

- ①科目:英語、数学の2科目
- ②年24回程度(週1回、もしくは長期休業中の実施)
- ③高1-高3の3学年、希望した生徒

今後 公教育と連携して指導を提供する取り組みは
全国に広がっていく可能性があり 大きな可能性を秘めています

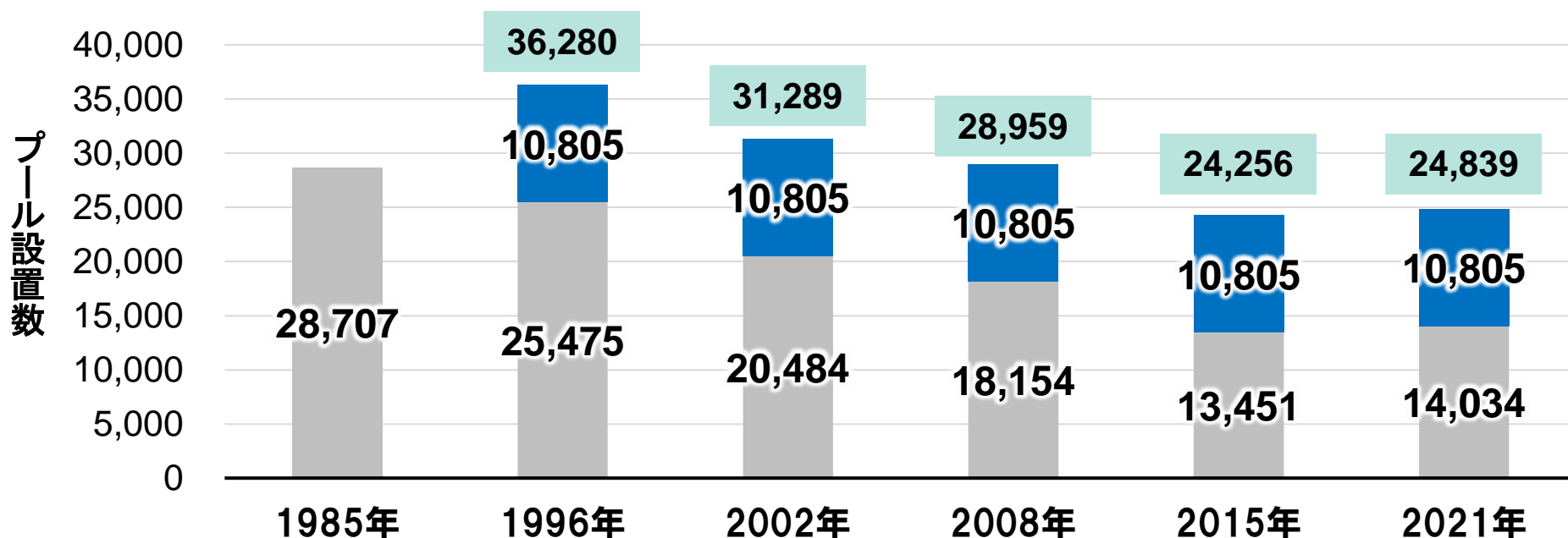
今後の発展について:水泳授業の外部委託が進んでいます

学校のプールの老朽化に伴って水泳授業委託・指導員派遣などのニーズが高まっている

小・中・高におけるプールの設置数推移

出典:文部科学省 体育・スポーツ施設現況調査

■ 1985年から1996年に増設されたプール数



1985年から1996年にかけてプールが大きく増えた
多くのプールが今後耐用年数を迎える(プール耐用年数は30~40年)

今後の発展について:水泳の授業受託には大きな可能性がある

イトマン校舎 = 全16都道府県 まだまだ大きなマーケットが全国にある

■ ... イトマンスイミング+イトマンスポーツ校舎がある地域(16都道府県)

現在、32の学校で授業を受託

- 1北海道(2小学校)
- 2宮城県(1小学校)
- 3東京都(2小学校)
- 4神奈川県(1中学校)
- 5奈良県(2小学校、1中学校、1大学)
- 6大阪府(1小学校)
- 7兵庫県(5小学校)
- 8福岡県(14小学校、2中学校))



	小学校		幼稚園 +認定こども園	
	設置数	児童数	設置数	児童数
全国	19,161	6,151,305	15,768	1,744,706
16都道府県計	10,558	4,072,046	9,210	1,142,992
1北海道	966	227,372	644	70,293
2宮城県	367	111,148	311	33,164
3茨城県	451	132,729	378	40,268
4埼玉県	806	359,989	625	96,231
5千葉県	759	303,407	586	79,593
6東京都	1,327	624,426	1,014	130,036
7神奈川県	882	446,637	775	113,692
8静岡県	500	180,387	631	64,370
9愛知県	968	401,581	634	98,923
10三重県	366	88,413	225	20,221
11京都府	365	118,394	332	36,883
12大阪府	986	416,847	1,214	162,231
13兵庫県	742	275,186	993	101,476
14奈良県	190	63,595	237	21,272
15福岡県	720	278,438	483	60,922
16佐賀県	163	43,497	128	13,417

出典: 文部科学省 令和4年度学校基本調査

今後の展望:リスキリング教育の広がり

個人のリスキリングに対する公的支援「五年間で一兆円」

岸田内閣総理大臣所信表明演説 より抜粋 (2022年10月・第210回国会)

なぜ、日本では、長年にわたり、大きな賃上げが実現しないのか。そこには、賃上げが、高いスキルの人材を惹(ひ)きつけ、企業の生産性を向上させ、更なる賃上げを生むという好循環が、機能していないという、構造的な問題があります。

一たび、このサイクルが動き出せば、人への投資が更に進み、この好循環は加速していきます。そのため、賃上げと、労働移動の円滑化、人への投資という三つの課題の一体的改革を進めます。物価高が進み、賃上げが喫緊の課題となっている今こそ、正面から、果敢に、この積年の大問題に挑み、「構造的な賃上げ」の実現を目指します。

まず、官民が連携して、現下の物価上昇に見合う賃上げの実現に取り組みます。

公的価格においても、制度に応じて、民間給与の伸びを踏まえた改善等を図るとともに、見える化を行いながら、看護、介護、保育をはじめ、現場で働く方々の処遇改善や業務の効率化、負担軽減を進めます。

また、リスキリング、すなわち、成長分野に移動するための学び直しへの支援策の整備や、年功制の職能給から、日本に合った職務給への移行など、企業間、産業間での労働移動円滑化に向けた指針を、来年六月までに取りまとめます。

特に、**個人のリスキリングに対する公的支援については、人への投資策を、「五年間で一兆円」のパッケージに拡充します。**あわせて、同一労働同一賃金について、その遵守を一層徹底してまいります。新しい働き方に対応するため、個人が、フリーランスとして、安定的に働ける環境を作るべく、法整備にも取り組みます。また、中小企業における賃上げに向け、生産性向上とともに、公正取引委員会等の執行体制を強化し、価格転嫁を強力に進めます。